

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	利用者一人一人に合った柔軟なサービスと、個別的な要望も可能な限り対応し、その方の願いが活かされるような、サービス提供を日々心掛けています。また、法人所属の看護師・音楽療法士・作業療法士による専門的なケアを定期的に提供し、利用者の意欲向上や活性化に繋げています。介護職員は専門職と適宜情報交換を行い在宅生活が少しでも長く続けられるよう支援しています。 「担当制」を導入し、利用者一人一人の気持ちに寄り添う柔軟なケアを心がけて、個別支援に力を入れています。地域に根ざした事業所を目指し、地域との関係作りにも力を入れています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 三田	管理者	山田 千春		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	2人	1人	0人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 30年度もケアプランについての研修をケアマネジャーに依頼し実施する。ケアプランの概念を再確認し、新人職員にはケアプランの理解を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 4月にケアマネジャーの目線でのケアプランの立て方、ケアプランの重要性を学習する。他職種の役割や目線、他職種との連携では再確認する事が多くあり、大変勉強になった 今年度も、全職員で、事業所評価に取り組んだ。今年度入職したばかりの職員は、契約上、勤務時間のしほりもあり、地域の交流会に参加したことがない。だが、職員間で情報を共有し合っていると、確認する事ができた 	<p>会議で全員揃う事はなかなか難しい 他の事業所でも、後日に欠席者と個別に会議行っている情報を共有する事が大切</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で自己評価、事業所評価に取り組み、次年度の目標設定を行う 勤務形態の都合上、事業所評価の話し合いに参加できない職員がいた場合でも、情報共有しフィードバックしていく。また、その際に出た意見も反映していく
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 事業所へ入りやすい雰囲気作りの一つとして、来客者を気持ち良く出迎える姿勢を意識づける 整理・整頓・清潔（3S）を徹底する 季節感を取り入れ、利用者が過ごしやすい空間作りに努める（具体的に） 地域行事への参加の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 「挨拶を心掛けた」「季節の演出に努めた」「玄関先に花を植え、雰囲気作りを行った」「来客者があった場合、気持ち良く出迎えた」等の意見が上がった。全員が心がけられている 環境係が整理整頓の声掛けを働きかけてきた 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問した際に、気持ち良い挨拶をしてくれる 明るい空間が保たれている 家族が送迎する中で、車の往来が多いようだが安全にされているか →送迎時間が重なることもあるが、慣れておられて安全に行われている。 季節の演出や、事業所の整理整頓では、担当を決めているのは良い。担当を決めないと誰かがやってくれるだろうと、漠然となってしまうがちである。担当が決まっていると責任を持って実施するので、結果的に計画目標が達成できる。意外な方が意外な才能があったりする。様々な役割を担当する事は良い。職員の隠れた才能や新たな発見を見出すためにも、交代しながら役割分担をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所へ入りやすい雰囲気作りの一環として、来客者を気持ち良く出迎える姿勢を意識付ける 整理・整頓・清潔（3S）に努める 利用者が生活しやすい環境作りに努める 事業所の顔である玄関には、季節を感じる演出を心がけていく

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が望む、事業所から発信して欲しい事や事業所の役割を、民生委員を介し、情報収集していく。研修の開催場所を事業所にしなくても、地域に向いいていき、顔馴染となる事で、介護の面で相談窓口となり、ケアの拠点を目指していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に向けた研修を、前年度同様、地域の災害訓練時に実施する。民生委員が懸け橋となり、地域との距離が縮まっているよう感じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭りや災害訓練に参加してもらい、助かっている ・老人会が行っている地域の掃除に関して、会長が変わり実施しているのか分からない。その他で、年末や祭りの前には、大歳神社で大掃除が行われている。都合が合えば参加して欲しい。 ・繋がりは大切である。民生委員を通して連携に努めて欲しい ・今は自治会がない地域もあり、地域連携は難しくなっている時勢である。率先して地域の方と協力、連携していこうという気持ちがあるため、とても良い ・この事業所は明るく、入りやすい。良好に運営できている事業所というのは、こういうところだと感じている。 ・事業所のイベントに参加できない時でも、地域にお誘いの手紙を配布する協力はさせてもらう ・近隣の店とは連携できているか →利用者と買い物や美容室、理髪店などに行き、事業所を周知してもらっている。現在、徘徊する方はおられないが、対象の方が利用する事になれば、近隣のお店にも理解を得る必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との連携を図り、地域のイベントや防災訓練に継続して参加する事で、更に地域に浸透していく
<p>D. 地域に向いいて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員や介護相談員と連携し、専門職として必要な助言・アドバイスしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事には民生委員が懸け橋になっており、快く参加させていただいている。今年度も地域の夏祭りにボランティア参加させていただいた ・運営推進会議内で地域から発信する場面を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の困難事例があれば紹介していきたい ・年末年始、地域の音楽サロンの日に変更になった。今後も、変更がある場合は連絡する ・運営推進会議を活用し、地域の方の困りごとなどを話し合っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に在住している高齢者に対し、民生委員や介護相談員と連携し、専門職として適切な助言をしていく
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に対し、運営推進会議の概要と目的を理解して頂けるよう、広報紙や事業所玄関にある連絡スペースを活用し、周知に努め、参加の呼びかけを行う。参加がなくとも会議で話し合っほしい議題は無いか問いかけていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に運営推進議事録を閲覧できるよう掲示している ・会議前には、家族に参加を呼び掛けた ・運営推進会議や介護相談員の役割等、広報紙に掲載し、伝達している 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に参加されている家族は、地域のイベントに積極的に参加されている ・地域密着事業所が利用者・家族を地域のイベントに連れ出す姿勢が見られる ・地域に住む家族へ、地域の災害訓練に声かけし、一緒に参加した事はとても良い取り組みである。近隣の方にも認識される事で安心できると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の専門職からの助言やご家族の意見を運営に反映し、今後のステップアップに繋げていく ・家族の困り事の検討や、地域からの発信なども会議内で話し合い、有意義な会議になるよう努める
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きマニュアルの周知に努める ・来年度も防災訓練と防災に関する研修を行い、防災意識を深める ・地域の防災訓練に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修にて周知把握に努めている ・9月防災訓練実施(水消火器使用方法・AED使用方法を学ぶ) 10月24日、災害時の対応研修予定(もしもの時の決め事を職員全員で話し合う) ・地域の防災訓練に参加し、講師も受け持たせていただいた ・171 伝言ダイヤルの体験利用を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時にできる役割を明確に伝えておく事も大切だと感じた ・事業所の防災訓練には業務の都合で参加できない ・日が合わないため、参加できない →参加者は決まってきた。防災訓練の様子や、ためになる事も広報紙で発信していく ・AEDは設置されているか? →事業所内の設置場所を確認する ・もしものに備えることが大切。事業所、利用者を守るために、事前からできる事を考え、実行する事が大切 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に法人マニュアルの周知に努める ・防災訓練や防災に関する研修を実施し、防災意識を高めていく ・地域の防災訓練に参加する